

SAMPLE

平成30年10月発売

担任必携・評価文例付

中学校道徳科授業 の流れとポイント

全国教科用図書卸協同組合◎企画 定価=本体1,200円+税

A5判・並製・128頁(予定)

※本製品は全国教科用図書卸協同組合の企画による専売品です。ご注文は専用注文書をご利用ください。

内容に関するお問合せは下記へ

さくら社 東京都千代田区神田神保町2-20 ワカヤギビル507号 TEL.03-6272-6715 FAX.03-6272-6716

- ◎「道徳科」の考え方がわかる!
- ◎授業のやり方がわかる!
- ◎評価文の書き方がわかる!

教科書、指導書を読む前に
いちばんわかりやすい
テキスト

道徳授業の研修にも
おすすめします。



平成30年10月発売

担任必携・評価文例付

中学校道徳科授業 の流れとポイント

内容
見本

全国教科用図書卸協同組合◎企画 定価=本体1,200円+税

この1冊ですべて解決!

- ◆担任が教えなくちゃいけないの?
- ◆「考え、議論する道徳」って?
- ◆教師の価値観を押しつけずに指導するには?
- ◆教えなければいけない価値(内容項目)って?
- ◆教師自身の道徳的価値への理解が微妙……?
- ◆評価はどう書けばいいの?



先生方の疑問・お悩みに応えてつくりました!

さくら社

「特別の教科 道徳」の考え方、授業の方法から 評価文の書き方まで

全部わかる

目次

I 担任が行う「特別の教科 道徳」

内容見本

- 1. 「特別の教科 道徳」の意味 ③
 - 形式的な授業から解き放とう ③
求められる道徳科授業とは ③
基本的な考え方からわかります。
- 2. 中学校の授業（教師）特性と道徳授業
 - 中学校教師の特徴 ④
中学校道徳授業の特徴 ④
「考え、議論する道徳」実現のための手立て ④
教科として目指すべき方向性がわかります。
- 3. 専科担任の特性と道徳授業 ⑤
 - ① 国語 ② 社会 ③ 数学 ④ 理科 ⑤ 音楽 ⑤
⑥ 美術 ⑦ 保健体育 ⑧ 技術・家庭 ⑨ 外国語 ⑤
中学ならではの教師の得手不得手がわかります。

II 指導法

- 1. 実際の授業はどうすればいいか
- 2. 授業の方法（具体的活動内容） ⑥⑦
 - ① 導入（教材文を読む） ⑥
どの教材でも応用できる指導法がわかります。
 - ② 道徳的価値について考える ⑦
 - ③ 道徳的価値について議論する ⑦
 - ④ ふりかえり（自我関与） ⑦

III 授業例

- 1～3年生の授業 ⑧⑨
 - A・B・C・D（各視点 指導案付） ⑧⑨
授業の流れとポイントが具体的にわかります。
 - 板書案も掲載しています。

IV 評価

- 全項目対応評価文例 ⑩⑪
4つの視点・22項目対応

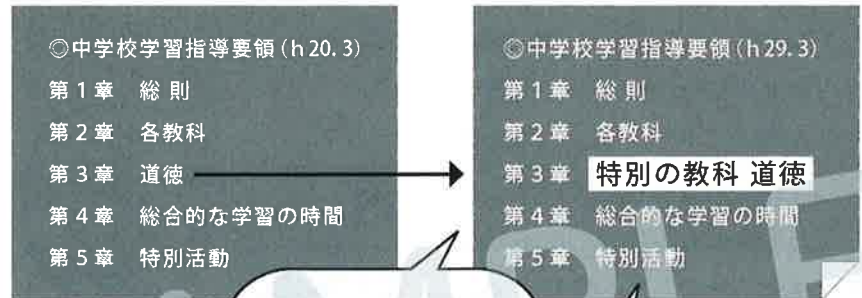
付録◎学習指導要領「特別の教科 道徳」

教科書教材を取り上げた120本以上の文例を収録。

1 「特別の教科 道徳」の意味

考え方

平成31年度から中学校でも教科としての道徳授業「特別の教科 道徳」がスタートします。



道徳科は、「各教科」に入らない

教員免許や評価の面で「各教科」とは違う

もちろん今までも「道徳の授業」として1年間に35時間設置されてきました。素晴らしい授業を展開し生徒の道徳性を高めるたくさんの先生方がいらっしゃる一方で様々な問題点が多くありました。その一つは「毎週授業がなされない（量的な問題）」ことですが、道徳科のスタートにより教科書が給与され、教師による道徳科の評価も始まることで授業の実施時数は確保されていくでしょう。あとは個人レベルで他の学習活動等に振り替えることがないよう各学校ですめていくだけです。教科化は「量的改善の最終手段」と言えるかもしれません。



③ 専科担任の特性と道徳授業

それでは、中学校教師の個性の一助となっている専門教科について、その教科の教師に見られる傾向を、強みと弱みから一般的に述べてみます。これはあくまで、「教科の特性が道徳授業に影響を与えるとすれば」という仮定の下に、また、筆者の限られた参観経験から記したものであり、その教科の先生すべてに当てはまるものではありません。

読み物教材に慣れている●国語科教師

教科書教材のほとんどが読み物教材です。そうである以上、日頃文章を主な教材としている国語教師は教材文を正確に読み取りその中にある道徳的価値を見いだしていくことなのでしょう。教師による範読も上手であり、読み聞かせの力量も高いものであると思います。主題を間違えて読みとってしまうことも少ないで



- 教材文を正確に読み取る。
- 主題を正確に読み取る。
- 教材の範読が上手。
- 副詞や助詞、表現技法に注目して、発問を考える。
- ことわざや格言にも詳しい。

- △ 文章の読み取りにこだわってしまう。

「考え、議論する道徳」の実現のための手立て

① 教材の水準を上げる

教科書には、「考え、議論する道徳」にふさわしい教材が求められます。生徒が自分の問題として真剣に考えたいくなる魅力的な教材が必要になります。

さらに主たる教材としての教科書の使用に加え、現場には教材開発の努力が求められています。授業者である教師が「いいな」「これを使いたい」と思える教材で授業をしてこそ生徒にも主体的な学びが期待されるものです。学校全体で良い教材を準備していくことも必要です。



② 生徒がわくわくするような授業展開の工夫

従来の「普及型」もよい一つの展開方法なのですが、授業の流れがそのワンパターンでは生徒が退屈してしまい、つまらない道徳授業に陥ってしまう弊害があります。

そこで、例えばこのような構成をしてみてもどうでしょうか。

◇キーワード「驚き」

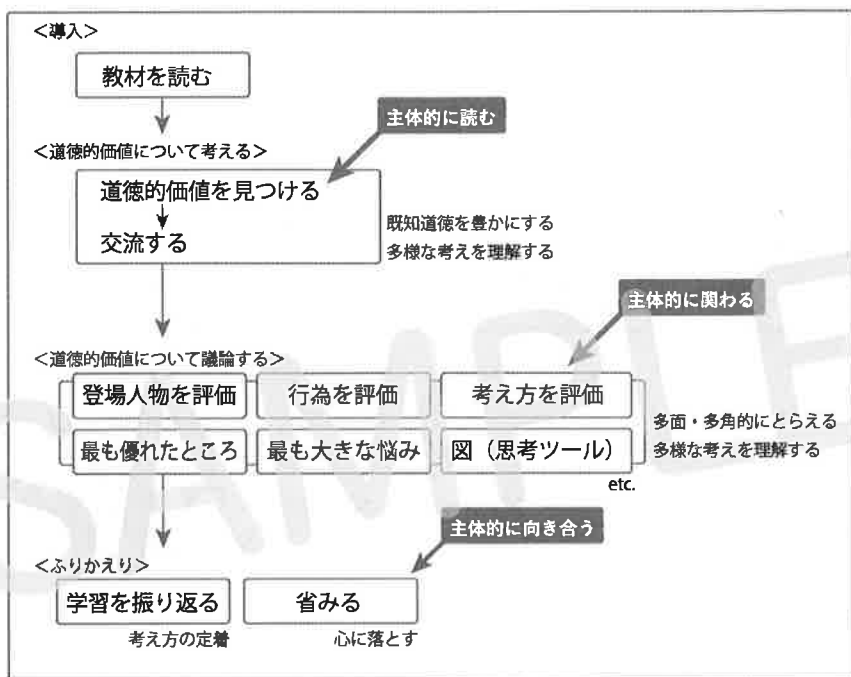
取り扱う教材の中で一番生徒に気づかせたい所を定め、生徒と教材が感動的に「驚き」を持って出会えるようにします。

◇キーワード「省みる」

自分を「省みる」学びも、展開の後半に置くとは限りません。導入の

② 授業の方法 (具体的活動内容)

具体的な指導法は、以下の通りです。



導入 (教材を読む)

教科書の読み物教材を通読し、全体の文意を把握します。読み方に特別な規定はありません。教師が範読しても、生徒に読ませてもよいです。黙読でもかまいません。

「道徳読み」の指導を何度か行くと、この教材を読む段階から、道徳的

価値を探しながら読む生徒が現れてきます。極めて主体的に道徳の視点をもって取り組む生徒と言えます。このような生徒が現れるのは、それまでの道徳の学習が生徒の中に浸透し蓄積していった一つの証です。

したがって、授業回数を重ねるに従い、初めての読みから「道徳読み」を始めることも可能となってきます。

道徳的価値について考える

① 道徳的価値を見つける (「道徳読み」)

自分から主体的に、教材文から道徳的価値を見つけ出すように読む学習です。生徒たちは既に何かしらの道徳的知識や価値観を持っています。したがって、教材文を読めば、そこに自然と道徳的価値を感じたり、頭を使って見つけ出したりします。しかしながら、その時点ではまだ感覚的で不明瞭な状態です。そこで、それらを言葉に書き表すことで明確にし、ひいては自覚的にしていくのがこの学習です。

ここで行うことは、次の2つです。

- (1) 「ここに道徳的価値があるな」と思えるところに線を引く。
- (2) その脇に、どんな道徳的価値が言葉で書く。

道徳的価値を見つける時には、頭に2つの観点を持つようにすると見つけやすくなります。1つは正しさを見つける正義の観点。もう1つは悪を見つける悪退治観点です。どちらの観点でも、教材を読むときの生徒たちは、正義の側に立って教材を読みます。

道徳読みをすると、生徒たちは教材文に設定されている内容項目とは

1年 D よりよく生きる

◎教材名 二度と通らない旅人

掲載教科書 東書 学研 教出 北村 日文 学研 あかき 日科

◎教材のあらすじ／概要

ある嵐の晩、旅人が一晩泊めてくれと一軒の家に頼む。その家の父と息子は断る。旅人はせめて一杯の水をと頼むも、病気の娘がいるのでと断られてしまう。旅人はその娘に丸薬を渡して立ち去ってしまう。丸薬のおかげで一命を取りとめた娘。恩返しをしようと思ったが、宿泊を頼む人は二度となかった。

D-22 (よりよく生きる喜び)

■教材名：二度と通らない旅人

■本時のねらい：人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることに喜びを見いだす意欲と態度を育てる。

展開

時配	主な活動	指導上の留意点
10分	1. 導入 教材を読む。	・教師が範読し、難しい単語の意味はその場で簡単に教える。
10分	2. 道徳的価値について考える (1) 道徳的価値を見つける。	・良い道徳と悪い道徳が書かれてある部分に線を引かせ、どんな道徳か短い言葉で線の近くに書かせる。

(2) 交流する(ペア)。

・自分が引いた線を隣の生徒と比べ、自分が引いてない線を知る。
・父親や兄についての言動は、意見が分かれるところなので、その旨を生徒に伝える。

15分

3. 道徳的価値について議論する
a. 人物を評価する。
b. 最も大きな悩みは何かグループで話し合う。

・父や兄についてAかCで評価をする。
・評価の理由も踏まえて話し合わせる。

10分

4. ふりかえり(自我関与)
(1) 授業をふりかえる。
(2) 自分事として省みる。

・授業を通して考えたことを中心に、授業の感想を書く。
・今日勉強したことで、①その良い点を見て、自分もそうなると思う。②その悪い点を見て、自分にそういうところもありはしないかと思う。のどちらかを選ばせる。

<板書例>

A

主として自分自身に関すること

自己のあり方を自分自身との関わりで捉え、
望ましい自己の形成を図ることに関するもの

自主、自律、自由と責任

(1) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。

「裏庭での出来事」

- ◎自分の過ちを素直に認めることの大切さはそれまでも分かっていましたが、さらに、その過ちに対してどうすることが正しいのかを自分で判断して行動することが、責任をもつことだということに気づき、実践への意欲をもつことができました。
- ◎友達に気兼ねして正直に言えない主人公に共感し、自分にもそのような弱い面があることを認めながらも、過ちを受け止める勇気をもって、自分のしたことの責任がとれるような自分になりたいという感想をもつことができました。

「スイッチ」

- ◎何でも人に頼ろうとせずに、まず自分で何が正しいかを考えてやってみることが大事だが、そのためには結果に対する責任を自分で引き受ける気持ちが必要になるということを、グループでの話し合いを通して考えることができました。
- ◎キャプテンを任せられ、練習内容をどうするか悩む主人公について話し合い、自分の思ったようにやればいいという意見や責任をもつべきだという意見などに真剣に耳を傾け、自分で考えて自分で決めるということについて深く考えていました。

NG文例 (こんな評価文はこう直す)

▲ 責任をとるということは、自分の過ちを素直に認めた上で、正しい行動を自分で判断して実行することだということに気づき、委員会活動の仕事をすっかり忘れた時に、自分から正直に申し出て翌日仕事をすることができました。

◎ 責任をとるということは、自分の過ちを素直に認めた上で、正しい行動を自分で判断して実行することだということに気づき、これからの生活の中で実践していこうという決意を感想に書いて発表することができました。

【解説】 特別の教科道徳（道徳科）では、学習状況と道徳性に係る成長の様子を評価しますが、それはあくまでも道徳科の授業の中での評価です。委員会での活動の様子等は、学校全体で行う道徳教育の評価として、「行動の記録」等で行います。

※この他〈思いに寄り添い〉〈自分事としてとらえ〉〈真摯に考えることが〉〈比較しながら〉〈多角的な思考で〉〈意見を述べることができました〉〈理解を深めることができました〉〈考えることができました（できるようになりました）〉〈しようという意欲をもつことができました〉など「覚えておく」と便利な表現・言い回しも収録!